

# 吉富町外 1 町環境衛生事務組合

8月23日(火)、吉富町外 1 町環境衛生事務組合の平成28年度第 2 回定例会において、平成27年度一般会計歳入歳出決算認定が全会一致で認定されました。

## 平成27年度 一般会計歳入歳出決算

(千円以下切捨て)

<b>歳入総額</b>	<b>8045万円</b>	<b>歳出総額</b>	<b>7518万円</b>
◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
分担金及び負担金 (上毛町分3677万円)	<b>6997万円</b>	総務管理費 (職員2名給与・臨時職員賃金・ し尿処理施設建設基金積立1020万円)	<b>2447万円</b>
使用料及び手数料 (火葬場使用料400万円・し尿処理場使用料127万円)	<b>527万円</b>	し尿処理場管理費 (職員1名給与・委託料・処理費外)	<b>3678万円</b>
財産収入	<b>26万円</b>	火葬場管理費 (燃料費・火葬業務委託料・補修工事請負費)	<b>1354万円</b>
◎ 次年度繰越金	<b>526万円</b>		

同日、組合議会全員協議会が開催され、し尿処理場更新計画について話し合いを行いました。

- ①現在の場所に新たな施設を建設
- ②吉富町公共下水道終末処理場内に吉富町と上毛町のし尿などを別々に受け入れられる施設を建設
- ③吉富町公共下水道終末処理場付近に吉富町・上毛町の両町のし尿などを受け入れられる施設を建設
- ④豊前広域環境施設組合し尿処理場で、し尿などを受け入れ下水道管に接続し豊前市下水道終末処理場で処理する。

以上4案の検討は、過去の組合議会で話し合われましたが結論を出すに至っていません。事業費が莫大に掛かることから慎重に審議しています。豊前広域環境施設組合の築上町・みやこ町の脱退については豊前市側で問題視されており解決後判断を行うとなっています。

# 豊前市外二町清掃施設組合

9月2日(金)、当組合議会が開催され次のような審議、報告がありました。

## 平成27年度 豊前市外歳入歳出決算審査報告

歳入歳出決算に関する調査及び財産に関する調査は、地方自治法施行規則に添って適正に処理されているものと認められました。また、年度末の現在における預金通帳及びその残高証明書と関係帳簿とも一致していることを確認しました。

歳入歳出予算の執行状況は、関係帳簿及び証書類を照査し、適正であり内容も正当なものと認定しました。

## 財政収支の状況

(千円以下切捨て)

<b>歳入総額</b>	<b>5億4197万円</b> (収入率 100.71%)	<b>不用額</b>	<b>2290万円</b>
<b>歳出総額</b>	<b>5億1102万円</b> (執行率 94.96%)	維持補修費	<b>1108万円</b>
		物件費	<b>865万円</b>
		その他経費	<b>316万円</b>

## 岩花 寛之 議員

# 若者向け定住施策の充実は

## 道免教育長 郷土に愛着を持つ取り組みを行う



**問** 50人以上雇用している町内企業の雇用実績は。福田企画情報課長 各社のここ3年間の求人調査したところ、15人から50人の雇用があり、内上毛町民が2人から10人となっている。

**問** 中高生に上毛町近郊で働く意義を考えさせる場はあるか。道免教育長 職場体験や大志塾があるが、上毛町近郊の企業へ就職をコーディネートできるような仕組みは現時点ではない。

**問** 進学や就職先を真剣に考えず高校生に対して、将来上毛町に住みたい、戻りたいという愛郷心を育む施策や事業ができないか。教育長 高校生向けではないが、中学校では上毛町民を講師に迎えた文化講座を行っており、地域の方とのふれあいの中で、自尊感情や郷土を愛する心の向上につながる取り組みを行っている。

**問** 定住促進として、入ることへの施策は多いが出ていくことを防ぐ施策が少なく感じるが。坪根町長 個人的には都会や世界で一旗揚げて頑張ることは、非常に素晴らしいと思う。上毛町が光り輝く町になり、外へ出た子どもも上毛町はすごいと思ってもらえる町を作っていきたい。

## 東九州道全面開通による影響は

**問** 大平楽、道の駅しんよしとみなどへの影響は。福田課長 10号線の利用減少により、観光バスや旅行者の利用が目に見えて減少している。

**問** 大池公園の整備も必要だが現段階では既存の大平楽や旧ビル館の活用が受け皿として有効なのでは。町長 道の駅しんよしとみのコンテナハウス同様、超一流を誘致することが集客につながるかと考えている。

## 高齢者買い物支援モデル事業の効果は

**問** 買い物困難者の支援モデル事業の利用状況と利用者の反応は。末松課長 福祉課長 安雲拓心苑、唐原コミュニティセンター、さざんか荘の3か所で行っており、概ね好評である。

**問** 地域コミュニティの活性化や見守り機能の充実も目的にしているが効果は。末松課長 地域コミュニティについては、利用者同士様々な話が



買い物客で賑わう移動販売車

きている。見守り機能については福祉委員や民生委員も参加し、見守りの場としての効果も生まれている。

**問** 9月から東上、吉岡が追加されるが、その他の地域も含め上毛町全体として買い物困難者の把握はできているか。末松課長 27年度、社協に委託して困りごと調査を実施した。買い物に困っている人が多いことはわかったが、実数は把握できていない。

**問** 今後、他地域で増設の要望が上がった場合、対応ができるか。末松課長 今年度は難しいが、来年度以降については何らかの解決策を模索していきたい。

## 第2次総合計画の進捗は

**問** 現段階の状況と今後のスケジュールは。福田課長 町民意向調査票の回収が完了し、今後プロジェクト会議による基本構想、計画案の協議を開始する。策定会議、審議会を経て今年度末までに策定する予定となっている。

**問** アンケートなどはとっているが、感覚的には行政主体で作っていると感じる。策定段階で直接住民の意見を聞く場を設けられないか。福田課長 今回の総合計画では予定していない。コミュニティ計画時には住民参加のワークショップを予定している。



第1次 上毛町総合計画 DIGEST

**問** 数値目標や判断基準を明確化したほうが良いと思うが。福田課長 第1次総合計画の課題としてチェック機能や適切な評価方法の導入が指摘されているため、検討していきたい。